



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道具 登志夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 赤澤 栄信

TEL 03-5220-1160

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,610	8.7	338	31.9	359	38.2	210	34.1
26年3月期第2四半期	1,481	9.6	256	△5.9	260	△5.3	157	△5.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 214百万円 (36.1%) 26年3月期第2四半期 157百万円 (△5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	15.20	15.17
26年3月期第2四半期	11.35	11.31

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	5,095		4,037		77.6	
26年3月期	4,873		3,876		77.8	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,951百万円 26年3月期 3,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,330	10.0	767	17.5	770	16.7	461	15.4	33.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,133,000 株	26年3月期	14,133,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	248,800 株	26年3月期	252,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,881,989 株	26年3月期2Q	13,856,661 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、緩やかな成長基調の中で推移いたしました。当社グループの属するセキュリティ業界におきましては、クラウドサービスの利用、スマートフォン・タブレット等のモバイル端末の普及、大規模な個人情報の漏えい事件の発生等により重要情報の保護対策への需要が高まってきております。このような状況の下、当社グループでは、企業および公共向け市場において、平成26年4月以降にリリースしたWebフィルタリングソフト「i-FILTER」 Ver. 9（サーバー版）、「i-FILTER ブラウザー&クラウド」 Ver. 3.5（モバイル端末版）、メールフィルタリングソフト「m-FILTER」 Ver. 4（サーバー版）並びにファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」 Ver. 4.1の販売を推進いたしました。また、家庭向け市場においては、自治体や教育機関と連携した保護者や青少年向けの啓発活動、さらに多様化するインターネット利用端末への搭載を推進するための提案活動を実施し、「i-フィルター」の需要喚起に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,610,029千円（前年同期比108.7%）となりました。なお、売上高は、「FinalCode」の大規模案件の受注遅れ等により、業績見通しを下回りましたが、通期の業績見直しに対する第2四半期連結累計期間までの進捗率は48.3%であり、堅調に推移しております。また、売上原価は466,779千円（前年同期比109.0%）、販売費および一般管理費は804,591千円（前年同期比101.0%）となりました。

この結果、営業利益は338,659千円（前年同期比131.9%）、経常利益は359,397千円（前年同期比138.2%）、四半期純利益は210,987千円（前年同期比134.1%）となりました。

各市場の業績は、次の通りです。

企業向け市場

主力製品である「i-FILTER」並びに「m-FILTER」は、クラウドサービスの利用やモバイル端末利用の普及により、クラウド版やモバイル端末版の販売が順調に推移いたしました。また、Webアプリケーション制御機能等を搭載し、新たな価格体系にて販売を開始した「i-FILTER」 Ver. 9は、既存並びに新規のお客様への販売が進み始めました。さらに、「m-FILTER」（サーバー版）の拡販に向けて、「i-FILTER」 Ver. 9発売にあわせた既存のお客様へのクロスセルを実施した結果、販売が順調に推移いたしました。また、電子メールセキュリティソフト「MailAdviser」も、販売が順調に推移いたしました。一方、「FinalCode」は、昨今の情報漏えい防止対策ニーズの高まりもあり、小規模案件の販売や、手軽に利用を開始することが可能なASPサービス（クラウド版）による販売が進みましたが、テスト導入をいただいている大規模案件の受注が遅れました。

これらの結果、企業向け市場の売上高は、824,737千円（前年同期比108.7%）となりました。

公共向け市場

公共向け市場は、「i-FILTER」や「m-FILTER」の販売を推進いたしました。その結果、企業向け市場同様に既存のお客様に対する「i-FILTER」 Ver. 9の販売はもとより、官公庁、自治体および公共団体の新たなお客様への販売が進みました。さらに、授業で利用するタブレット端末増加にあわせ「i-FILTER ブラウザー&クラウド」（モバイル端末版）の営業活動を推進した結果、文教向けに販売が進みました。

また、「m-FILTER」は、IT利活用の進展もあり自治体を中心に販売が進みました。さらに「D-SPA」は、前期より継続的な営業活動を推進してきた自治体や公共団体での販売が進みました。

これらの結果、公共向け市場の売上高は、609,897千円（前年同期比113.8%）となりました。

家庭向け市場

スマートフォン向けフィルタリングソフト「i-フィルター」は、OEM提供による販売は順調に推移いたしました。店頭での販売施策を見直し、収益性改善を図った結果、売上は減少いたしました。一方、ゲーム端末向けとしては、平成26年10月11日に発売の任天堂株式会社の携帯型ゲーム機「Newニンテンドー3DS™」のインターネットブラウザーに、「i-フィルター」の技術が採用されました。この「Newニンテンドー3DS™」では、日本国内において幅広く市販されるゲーム端末として初となる『ブラウザーのフィルタリング設定がはじめから有効な状態』で提供されています。このように『はじめからフィルタリングを有効な状態』で機器を提供することは、インターネット利用における青少年の安全を確保する有効な方法の1つと考えており、他のインターネット利用端末での採用に向けた提案活動を継続しております。

これらの結果、家庭向け市場の売上高は、175,394千円（前年同期比94.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ221,981千円増加し、5,095,368千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、未払消費税等、未払金の増加等により、前連結会計年度末に比べ60,988千円増加し、1,057,876千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ160,993千円増加し、4,037,491千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績見通しと変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155,787	2,440,177
売掛金	814,636	796,030
有価証券	401,458	100,849
製品	6,770	6,112
繰延税金資産	60,726	60,726
その他	58,135	44,715
流動資産合計	3,497,513	3,448,612
固定資産		
有形固定資産	127,329	111,246
無形固定資産		
ソフトウェア	755,168	814,975
その他	133,285	62,193
無形固定資産合計	888,453	877,169
投資その他の資産	360,090	658,340
固定資産合計	1,375,873	1,646,755
資産合計	4,873,387	5,095,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,911	3,263
未払法人税等	181,574	156,549
賞与引当金	99,398	102,715
前受金	476,397	485,647
その他	190,138	267,018
流動負債合計	954,420	1,015,194
固定負債		
資産除去債務	41,933	42,146
その他	535	535
固定負債合計	42,468	42,681
負債合計	996,888	1,057,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	713,590	713,590
資本剰余金	732,237	734,041
利益剰余金	2,490,168	2,645,633
自己株式	△146,860	△144,880
株主資本合計	3,789,135	3,948,383
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	3,126
その他の包括利益累計額合計	—	3,126
新株予約権	87,362	85,981
純資産合計	3,876,498	4,037,491
負債純資産合計	4,873,387	5,095,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,481,615	1,610,029
売上原価	428,217	466,779
売上総利益	1,053,397	1,143,250
販売費及び一般管理費	796,686	804,591
営業利益	256,711	338,659
営業外収益		
受取利息	1,362	1,419
受取手数料	151	147
為替差益	1,488	18,024
未払配当金除斥益	950	1,058
雑収入	10	176
営業外収益合計	3,962	20,826
営業外費用		
株式交付費	514	—
支払利息	—	87
消費税等差額	151	—
営業外費用合計	665	87
経常利益	260,008	359,397
特別利益		
新株予約権戻入益	1,259	153
特別利益合計	1,259	153
税金等調整前四半期純利益	261,268	359,551
法人税等	103,971	148,563
少数株主損益調整前四半期純利益	157,296	210,987
四半期純利益	157,296	210,987

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157,296	210,987
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	3,126
その他の包括利益合計	—	3,126
四半期包括利益	157,296	214,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,296	214,114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,268	359,551
減価償却費	228,066	279,176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,076	3,317
受取利息	△1,362	△1,419
為替差損益 (△は益)	△2,205	△18,171
新株予約権戻入益	△1,259	△153
売上債権の増減額 (△は増加)	135,134	27,855
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,444	444
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,030	△3,398
未払金の増減額 (△は減少)	△68,394	35,569
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	19,962	21,208
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△20,856	42,157
その他	2,642	500
小計	580,658	746,638
利息及び配当金の受取額	1,166	817
法人税等の支払額	△149,365	△176,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,459	571,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,310	△5,756
無形固定資産の取得による支出	△287,972	△244,762
子会社株式の取得による支出	△5,940	—
投資有価証券の取得による支出	—	△299,505
有価証券の償還による収入	—	300,000
貸付けによる支出	△56,400	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,623	△250,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	36,141	2,227
配当金の支払額	△65,248	△55,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,106	△53,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	16,078
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,729	284,414
現金及び現金同等物の期首残高	1,570,777	1,656,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,598,506	1,941,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。